

第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画 実績報告

1 第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画の概要（2018（平成30）年3月策定）

- 温室効果ガス排出量の削減目標
2020年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比16%以上削減する。
- 省エネルギーの取組目標
2020年度までにエネルギー原単位を2013年度比7%以上削減する。
- 水道使用量の削減目標
2020年度までに水道使用量を2013年度比7%以上削減する。
- グリーン購入の取組目標
調達方針を毎年定め、環境物品等の調達を推進する。

2 令和元年（2019年）度の実績

項目	単位	削減率	消費量 (活動量)							2020年度	2013年度比	達成度	
			2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	目標値		2019年度
温室効果ガス排出量	kg-CO2	16.0%	41,022,001	39,641,908	40,611,716	39,281,928	38,331,599	37,061,728	40,465,371		34,382,990	1.36%	×
エネルギー原単位	市長部局	kL/m ³	0.02664	0.02597	0.02724	0.02491	0.02495	0.02439	0.02449		0.02478	8.07%	◎
	教育委員会	kL/m ³	0.01166	0.01175	0.00966	0.00966	0.00974	0.00925	0.00910		0.01084	21.96%	◎
	上下水道局（上水道）	kL/千m ³	0.04137	0.03821	0.03780	0.03621	0.03667	0.03573	0.03743		0.03847	9.51%	◎
	上下水道局（下水道）	kL/m ³	0.03730	-	-	-	-	0.03657	0.03660		0.03469	1.88%	△
水道使用量	m ³	7.0%	803,088	773,908	824,833	844,257	796,912	833,870	771,882		746,872	3.89%	△
グリーン購入調達方針	-	-	○	○	○	○	○	○	○		○	-	◎

3 分析（目標未達成の要因等）と対策について

- ◆温室効果ガス排出量は、基準年度比で約1.4%削減となり、目標は達成できませんでした。
- ◆温室効果ガス排出量が昨年度より約9.2%増加した要因として、令和元年東日本台風の発生による避難所の開設や浸水被害による公共の災害廃棄物焼却が挙げられます。台風の影響で増加したエネルギー使用量を除いた場合は、減少していることから、今までどおり、省エネ等の取り組みを継続することが重要です。
- ◆エネルギー原単位については、ほとんど目標を達成していますが、上下水道局（下水道）部門については、令和元年東日本台風の影響により、ポンプ等へのA重油の使用が増えたことが要因と考えられます。
- ◆水道使用量については、目標を達成していませんが、昨年度から減少していることから、取り組みを継続していくことが必要です。
- ◆グリーン購入調達方針については、毎年方針を策定し、グリーン購入を推進していることから、引き続き取り組みを続けていくことが必要です。

【温室効果ガス排出量の年次推移】



【種類別温室効果ガス排出量の年次推移】

